

体験授業スペシャルデー

8/1

授業の数が普段の倍！

学部学科で迷っている人も
もう"ここ"と決めている人も

このチャンスに

跡見の授業を受けてみませんか？

新しい発見があるかも☆

※担当教員が学科個別相談も行っています。
先生と直接お話ししたい方は、是非お越しください♪

文学部

人文学科 11:30~12:00 2号館4階M2401教室	文学について楽しみながら学ぶとは 講師 加美 甲多
	みなさんは文学に対してどのようなイメージをお持ちですか。文学、特に古典文学＝文法で、難しい、わからないと思ってはいませんか。確かに古典文学を学ぶには文法も大事です。しかし、当時の人々のなかで文法を意識していたのはほんの一部です。当時の多くの人々は文法どころか文字を読む機会すら少なく、文字を読むこと以外の方法によって、娯楽として楽しみながら古典文学に接していたわけです。同じ学ぶならぜひ一緒に古典文学を楽しみながら学びましょう！

人文学科 12:15~12:45 2号館4階M2401教室	図書館は知の宝庫—巻物からデジタルの時代まで— 講師 長谷川 幸代
	図書館と言えば、本を貸し出すところ、調べものに役立つ場として認識している人が多いのではないのでしょうか。しかし、実際には他にも多くの役割が存在します。古代の巻物の時代から、人々の知識を管理して後世に継承しています。また、時代とともに変遷していくものの中で、とりわけ注目されるのが私たちの日常にある問題やビジネスに役立つサービスです。体験授業では、図書館がどんな資料を扱いどんなことをしてきたか、巻物の時代からデジタル社会の現代までを通して、普段知る機会の少ない事例を紹介しつつ、その存在意義を検討します。

現代文化表現学科 12:15~12:45 2号館4階M2405教室	舞台芸術を研究しよう！ 准教授 川島 京子
	現在、私たちがこの日本で観ることのできる舞台芸術は、オペラやバレエ、日本の伝統芸能や現代演劇、ミュージカルや宝塚、ライブやパフォーマンスなど沢山のものがあります。皆さんの中には、こうした舞台が大好きでずっと見続けてきた人もいます。跡見学園女子大学では、こうした舞台芸術を専門的に学ぶことができます。みなさんにとって身近なこうした舞台を、少し学問的に捉えてみませんか。きっとそこには、様々な発見や驚き、将来への新たな可能性が見つかると思います。

現代文化表現学科 13:45~14:15 2号館4階M2405教室	映画の観かた —お楽しみから研究へ— 教授 副島 善道
	今回の体験授業は、現代文化表現学科の専門科目「映画論」の入り口をご紹介します。映画を学問の対象として研究する「観かた」と、お楽しみにして鑑賞する「見かた」とは何が違うのか、これをいくつかの映画作品の一部分を使ってご説明します。すき・すてき、と自分ひとりの感想を述べるのはSNS発信ですから、研究にはそれとは違った目線が必要です。スクリーンの上下左右そして手前も奥も、まずじっくり見つめてみましょう。

コミュニケーション文化学科 11:30~12:00 2号館4階M2402教室	江戸っ子文化 —判じ物 in 着物 & 浮世絵— 教授 マック カレン
	モノ学・視覚文化として、モチーフ(柄・模様・文様)のコミュニケーションと江戸っ子の遊び心についての体験授業でございます。モノ学・視覚文化と関係しているコミュニケーション文化学科の授業も紹介いたします。江戸時代の判じ物から、歌舞伎の衣裳(團十郎格子など)、流行の着物の判じ物柄、浮世絵の判じ物と禁止令についてお話しを致します。

コミュニケーション文化学科 13:00~13:30 2号館4階M2402教室	多言語社会日本におけるコミュニケーション 准教授 吉田 さち
	私たちの周囲には、多くの言語であふれています。皆さんも日常的に、駅や街中の表示、車内・店内で流れる放送、商品のパッケージなど、さまざまな場所で日本語以外の言語に触れることがあるのではないのでしょうか。日本はいつから多言語社会になったのでしょうか。日本にはどのような言語を話すコミュニティが存在するのでしょうか。この授業では、「多言語社会日本」の現状について各種データにもとづいて考察します。それを踏まえて、多言語社会におけるコミュニケーション上の課題について一緒に考えてみたいと思います。

マネジメント学部

<p>マネジメント学科</p> <p>12:15~12:45</p> <p>2号館5階M2501教室</p>	<p>会社っていったい何もの？ コーポレート・ガバナンスのおもしろ世界 教授 細川 淳</p> <p>「会社」なんて、あなたにはどこか遠い存在に思えるでしょう。でも今からわずか2年半後には、皆さんは「シューカツ」に身を浸しています。そしてほとんどの人は「会社」に就職します。その「会社」っていったい何ものなんでしょうか。ふだんは気づかないけど、あなたの身の回りにあふれる会社の数々、そして数年後にはあなたが就職して仲間に入って行く「会社」。そんな会社のおもしろ世界をあなたにかいま見せてあげるのが、この体験授業です。「会社」を知ることで社会人になって行く夢とワクワクを手に入れましょう。</p>
<p>マネジメント学科</p> <p>13:45~14:15</p> <p>2号館5階M2501教室</p>	<p>ヒットを生み出すための製品開発戦略 講師 郷 香野子</p> <p>世の中では、毎年、数多くの製品が発売されています。しかし、それらの中でヒットとなる製品は極めて少ないのが現状です。この講義では、日本で誕生しヒットした製品の開発プロセスを通して、成功した要因を探っていきます。あわせて、製品開発のプロセスや戦略、近年のトレンドとして消費者参加型の製品開発についても紹介します。</p>
<p>生活環境マネジメント学科</p> <p>11:30~12:00</p> <p>2号館5階M2502教室</p>	<p>ファッションの未来を考えてみよう 准教授 横井 由利</p> <p>あなた方もよく知っているファストファッションは、環境を破壊し、安い賃金で開発途上国の人々を働かせるブランドと、悪者扱いされた時期がありました。ところが今は、安さの追及にとどまらず、環境や人道問題に配慮した服作りを始めています。その話に触発された学生は「持続可能なファッション」をテーマにファッションの動画を制作しました。体験授業では、その動画を見ながらファッションの未来について考えてみましょう。</p>
<p>生活環境マネジメント学科</p> <p>13:00~13:30</p> <p>2号館5階M2502教室</p>	<p>食べ物を大事にしていますか？ 准教授 天海 弘</p> <p>皆さんは国連サミットで採択された『持続可能な開発目標(SDGs)』をご存じでしょうか？この目標には17のゴールが設定され、そのゴールの一つが『飢餓をゼロに』を目標としています。日本では食べられるのに無駄に捨てられている食品が、年間約600万トン以上あるといわれています。しかし現在でも世界人口の8人に1人は飢餓に苦しんでいます。この授業では皆さんの身近にある、食品ロスについて考えてみたいと思います。</p>

観光コミュニティ学部

<p>観光デザイン学科</p> <p>10：45～11：15 2号館6階M2601教室</p>	<p>テーマパークで「世界」を考える 教授 磯貝 政弘</p> <p>TDRやUSJに”はまる”人が、年齢や性別にかかわらず数多い。それぞれのパークが創り出す「世界」に、人々は魔法にかかったかのように魅了されます。この授業では、テーマパークの魅力とともに、その世界観について考えます。</p>
<p>観光デザイン学科</p> <p>13：45～14：15 2号館6階M2601教室</p>	<p>クルーズから観光を考える 教授 曾山 毅</p> <p>クルーズ客船は交通機関ではありません。動く洋上リゾートホテルです。クルーズは観光活動の一形態なのです。旅客機の発達によって定期客船はクルーズ客船へ形を変えました。そしてカリブ海クルーズという商品によってクルーズの大衆化が加速しました。そしてコロナ禍は世界と日本のクルーズをどのように変えるのでしょうか。みなさんとクルーズと観光の関係について考えてみたいと思います。</p>
<p>コミュニティデザイン学科</p> <p>11：30～12：00 2号館6階M2602教室</p>	<p>田舎暮らし、はじめました ー農村コミュニティの魅力に迫るー 准教授 土居 洋平</p> <p>今、都市から農村に移住する若者が増えています。また、コロナ禍は、この動きをさらに加速させています。地域おこし協力隊や田舎で働き隊など、政策的な取り組みも利用しながら、元々は縁もゆかりもない田舎に移住する20～40代の若者たち。彼らは、どうして田舎に移住するのでしょうか。また、移住してどのような暮らしを営んでいるのでしょうか。そして、都市と農村での暮らしには、どのような違いがあるのでしょうか。今回の体験授業では、Iターン現象を事例に取りながら、農村コミュニティの特徴と魅力について学びたいと思います。</p>
<p>コミュニティデザイン学科</p> <p>13：00～13：30 2号館6階M2602教室</p>	<p>地震に自信を ～正しく知り、正しく備えるために～ 教授 鍵屋 一</p> <p>最近、地震が多いな、と感じることはありませんか。過去の記録を読み解き、現代科学で予測をすると、首都圏や太平洋沿岸地域では、私たちが大地震前夜にいることがわかります。地震が来るか来ないかではなく、地震が来ても安全な個人や社会をいかに作るかを一緒に考えましょう。</p>

心理学部

<p>臨床心理学科</p> <p>10：45～11：15 2号館5階M2505教室</p>	<p>望みを叶える工夫 教授 松崎 くみ子</p> <p>「目標に向かって進む」ことが大切と言われますが、多くの人は「三日坊主」を経験していると思います。「目的なしにのんびり過ごす」こともまた 人生にとっては必要ですが、「こうありたい」「こうなりたい」を叶えたい、とも思います。叶えたい望があるときに、なんとか実現に近づける工夫を考えてみます。</p>
<p>臨床心理学科</p> <p>13：45～14：15 2号館5階M2505教室</p>	<p>私たち人類(ホモ・サピエンス)が持っている潜在的能力とは？ 教授 宮崎 圭子</p> <p>人間の赤ちゃんは、他の哺乳類動物、例えば、サル、犬、馬等の赤ちゃんと比較して、無能な存在としてこの世に誕生してきます。他の哺乳類動物の赤ちゃんは色々なことが既にできるようになって、この世に誕生してくるのです。人間の赤ちゃんは、1年早く生まれてくると言われているのです。生物学者ポルトマン(Portmann,A)の生理的早産説と呼ばれているものです。なぜ、人間の赤ちゃんはあのように無能なのでしょう。それには人間が持つ潜在的力と大きく関係があるのです。その一部を紐解いてみましょう。</p>

